

課程	共通課程		科目群	教養科目群	
授業科目	データサイエンス入門 2025年度(令和7年度)		科目コード	1110067	
代表教員	斎藤 順		成績責任者教員	斎藤 順	
担当教員	斎藤 順				
実務家教員担当科目	-	授業科目に関連する担当教員の实務経験	該当しない		
配当年次	2年		必修・選択区分	選択	
配当学期	後期	単位数	2単位	授業回数	15
アクティブラーニング	-				
開講キャンパス	新潟キャンパス				

## 【ディプロマ・ポリシー（卒業認定方針）との関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
食料産業を理解することができる	新たなビジネス創造を指向することができる	諸課題を解決する意欲を有することができる	地域の活性化や社会の発展に寄与することができる	他者と協力して物事に取り組み、成果を導くことができる
◎	○			○

授業概要	デジタル化により社会は大きく変化しています。そのデジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基本知識と技術の習得は、消費者の行動把握や企業の戦略に不可欠なものとなってきました。単に作業をコンピューターで処理するだけでなく、データの収集、整理、分析、可視化まで目的に応じて自動化し、機械学習によって問題解決の方法を導き出すことが可能な時代になってきました。このような時代の変化を鑑みて、本教育ではデータサイエンスの全体を理解できる人材育成が必要です。そこで、本科目ではデータを活用する上での基礎的な知識と技術の習得を目指す。
到達目標	Excelの習熟と統計的な分析の基本の習得を通して、専門領域・科目を自律的に学習していくための基礎スキルをマスターすることを目的とする。

回数	授業計画	担当教員
1	ガイダンス	斎藤 順
2	RESASを使ったデータ分析の基礎	斎藤 順
3	RESAS 地域の特徴をつかむ演習	斎藤 順
4	e-statのデータと利用方法	斎藤 順
5	食料消費に関する統計分析入門	斎藤 順
6	表計算ソフトを用いたデータの加工と集計	斎藤 順
7	統計基礎 データの見方	斎藤 順
8	統計基礎 データの解釈と表現	斎藤 順
9	データ分析演習 多変量解析の方法	斎藤 順
10	データ分析演習 多変量解析で見る地域と食	斎藤 順
11	仮説とは何か、検定とは何か	斎藤 順
12	データ解釈の基礎知識	斎藤 順
13	データ解釈演習	斎藤 順
14	データの可視化と表現方法	斎藤 順
15	市場規模を探る演習	斎藤 順

評価方法	課題レポートによる評価（中間50%、期末50%）
教科書（必ず購入する書籍）	教科書は指定しない。
参考書等	適宜授業で照会する。

事前学習			
事前学習時間 (分)	120分	事前学習内容	予習内容は適宜指定する
事後学習			
事後学習時間 (分)	120分	事後学習内容	授業範囲について内容を振り返りながら、再度実践する。
備考	毎回パソコンを使います。充電やアップデートは事前に済ませておいてください。		
担当教員連絡先メールアドレス	jun-saito@nafu.ac.jp		

**【ディプロマ・ポリシー (卒業認定方針)】**

本学を卒業するために身につけるべき力(知識・理解・技能・姿勢)を定める基本的な方針

知識・理解	食品や農産物に関わる専門知識を有し、それらの生産から加工、販売までを一連のフードチェーンとして捉え、成長産業としての食料産業を理解することができる。
思考・判断	修得した専門知識に基づき、食料産業において、マーケットインの発想をもって、新たなビジネス創造を指向することができる。
関心・意欲	国内外の食料、農業、経済、環境をはじめとする社会の情勢に関心を持ち、諸課題を解決する意欲を有することができる。
態度	食料・農業に関する新たな価値を創出し、地域の活性化や社会の発展に寄与することができる。
技能	サイエンス・テクノロジー・ビジネスの能力を兼ね備え、自らの思考・判断の経緯や結果を論理的に説明でき、他社と協力して物事に取り組み成果を導くことができる。